

MD-PhD プログラム履修要領

令和7年8月7日 医学研究科教務委員会

令和7年8月28日 医学研究科委員会

1 目的

この要領は、医師（MD）を目指して医学部カリキュラムを履修すると同時に、医学研究科博士課程と同じ教育研究指導を受け、医学博士（PhD）の学位を取得する MD-PhD プログラムの履修等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

2 構成

MD-PhD プログラムは、前期プログラムと後期プログラムの二段階で構成される。前期プログラムは医学部在籍中（第2学年以降）に開始され、卒業後に後期プログラムへ進む。博士課程の標準修業年限4年間のうち、前期プログラムを1年間、後期プログラムを3年間に相当するものとする。

3 履修等

MD-PhD プログラムの履修等については、次のとおりとする。

(1) 前期プログラム

ア 入学

学長は、大学院において行う MD-PhD プログラムの入学者選抜試験に合格し、かつ、所定の手続きを経た者に入学を許可する。

イ 授業科目

授業科目は、博士課程を構成する科目群のうち、表1に示す基礎医学系科目から主に履修する科目（主科目）として1科目を選択する。

また主科目に関連する副科目を2科目まで選択することができる。前期プログラムを開始するときは、所定の期日までに前期プログラムの履修届（様式1）を事務局学務課大学院係（以下「学務課」という。）へ提出する。

ウ 研究施設の利用

医学部学生が前期プログラムにおいて研究を行うにあたり、各講座・部門及び教育研究機器センター等の施設・設備を、指導教員の下で使用することができる。ただし動物実験施設部、ラジオアイソトープ部門（RI 部門）を含む教育研究機器センターの利用にあたっては、所定の手続きや研修を経て許可を受けなければならない。

エ 修了要件

修了時には、プログレスレポート（A4 版用紙5枚程度、様式自由）を作成し、主科目の指導教員の審査を受け合格と認められることをもって、前期プログラムを修

了したものとする。

なお、プログレスレポートは学務課に提出する。発表論文がある場合は、それをプログレスレポートとして代用することができる。

医学部を卒業する年度にプログレスレポートの提出がない場合は、後期プログラムを履修することができない。

オ 授業科目の変更

履修期間中に表1に示す主科目又は副科目の変更を希望する場合は、現在及び変更予定科目それぞれの指導教授の承認を得たうえで、履修科目変更願（様式2）を学務課へ提出し、大学院医学研究科教務委員会（以下「教務委員会」という。）において審査を行い、大学院医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）の承認を経て、大学院医学研究科長（以下「研究科長」という。）の許可を受けなければならない。

(2) 後期プログラム

ア 開始時期

原則として前期プログラム修了直後又は初期臨床研修修了後（卒後3年目）を開始時期とする。

なお、初期臨床研修修了後の専門研修、いわゆる後期臨床研修の修了直後から開始を希望する場合は、教務委員会において審査を行い、研究科委員会の承認を経て、研究科長の許可を受けなければならない。

後期プログラムを開始するときは、後期プログラム開始届（様式3）を、開始を予定する前年度の1月末日までに学務課へ提出する。

イ 授業科目

授業科目は、医学研究科博士課程（以下「博士課程」という。）と同様に、全ての授業科目から選択することができる。

主科目として1科目、副科目として2科目以上を選択する。

ウ 研究施設の利用

博士課程と同様に、所定の手続きや研修を経て利用の許可を受け利用する。

エ 修了要件と単位認定

修了要件、単位修得の認定方法については、博士課程と同様とする。

4 最終試験（学位審査）

最終試験（学位審査）については博士課程と同様とし、札幌医科大学学位規程、札幌医科大学学位規程施行細則、及び札幌医科大学学位論文審査規程に基づき審査を実施する。

5 長期履修制度

後期プログラムにおいて、長期履修制度を利用することができる。

6 辞退

MD-PhD プログラム入学後、前期プログラムにおいて諸事情によりプログラムの履修を辞退する場合は、指導教授の承認を得て理由書(様式4)を学務課に提出し、教務委員会において審査を行い、研究科委員会の承認を経て、研究科長の許可を得なければならない。

7 その他

この要領に定めるもののほか、MD-PhD プログラムに関して必要な事項は、教務委員会の議を経て、研究科委員会が別に定める。

附 則

1 この要領は、令和7年10月20日から施行する。

2 経過措置

この要領の施行前に前期プログラムを開始した令和6年度及び令和7年度に本学医学部を卒業した者を対象に以下の経過措置を講ずる。

経過措置対象期間に前期プログラムを履修し修了要件の手続きが未了である者（履修を辞退した者を含む）は指導教授の承認を得た上で3（1）エ及び3（2）アの手続きを行い、教務委員会において審査を行い、研究科委員会の承認を経て、研究科長の許可を得た場合に、この要領に基づく後期プログラムの開始を認めることとする。

表1 MD-PhD 前期プログラムで選択可能な専攻主科目一覧

専攻	領域	科目	講座等の名称	分野等の名称
地域医療人 間総合医学	地域医療総合医学	環境保健予防医学	社会医学講座	衛生学分野
		公衆衛生学	社会医学講座	公衆衛生学分野
	人間総合医療学	法医学	法医学講座	-
		時間感染症学	物理学	-
		医学領域知的財産学	先端医療知財学講座	-
		臨床遺伝学	ゲノム予防医学講座	臨床ゲノム学分野
	発生分化・加齢制御医学	臓器発生・再生医学	再生医学研究所	組織再生学部門
		神経再生医療学	再生医学研究所	神経再生医療学部門
生体防御医学	感染防御・制御学	感染学講座	微生物学分野	
分子・器官 制御医学	遺伝子医学	ゲノム医科学	ゲノム予防医学講座	ゲノム医科学分野
		分子医学	免疫学研究所	分子医学部門
		分子細胞生物学	生物学	-
	分子腫瘍医学	腫瘍免疫学	病理学講座	病理学第一分野
情報伝達 制御医学	神経科学	脳神経機能学	生理学講座	神経科学分野
		加齢制御薬理学	薬理学	-
	生体機能制御学	細胞機能情報学	生理学講座	細胞生理学分野
		分子医化学	生化学講座	医化学分野
		応用分子生物学	生化学講座	分子生物学分野
		免疫制御医学	免疫学研究所	免疫制御医学部門
		分子細胞機能学	化学	-
	生体構造情報学	分子病態生物学	病理学講座	病理学第二分野
		生体分子形態学	解剖学講座	細胞組織学分野
		生体機能構造学	解剖学講座	機能構造学分野
		分子細胞科学	がん研究所	細胞科学部門

様式 1

前期プログラムの履修届

年 月 日

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

(主 科 目)

専 攻 名学専攻

領 域 名学領域

専攻主科目名学

所 属 医学部医学科

学年・番号 第.....学年.....番

氏 名印

次により副科目を履修しますので、お届けします。

科 目 名	担当教員欄
講義、演習	(氏名) 印
講義、演習	(氏名) 印

主科目担当教員承認欄	(氏名) 印
------------	--------

様式2

MD－P h D前期プログラム履修科目変更願

令和 年 月 日

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

所 属：医学部医学科

第 学年 学籍番号 _____

氏名 _____ 印

次のとおり履修科目を変更したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修科目の区分 (変更を希望する科目に ○をつけてください。)	主科目 ・ 副科目
現在の履修科目	
変更予定履修科目	
変更希望年月日	令和 年 月 日
変 更 理 由	

指導教員承認欄	(現在所属) 指導教員 ⑩
	(変更予定) 指導教員 ⑩

様式3

MD-PhD後期プログラム開始届

令和 年 月 日

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

(ふりがな)

氏 名 _____ 印

生年月日 昭和・平成 年 月 日 男・女
(歳)

次のとおり後期プログラムを開始したいので、承認くださるようお願いいたします。

記

前期プログラムの 専攻主科目	専攻 (科目：)	領域 学)
後期プログラムの 専攻主科目 ※1	専攻 (科目：)	領域 学)
経 歴	年 月 日	事 項 (卒業後の経歴)
	昭和・平成・令和 年 月 日	札幌医科大学医学部卒業
	昭和・平成・令和 年 月 日	
	昭和・平成・令和 年 月 日	
	昭和・平成・令和 年 月 日	
	昭和・平成・令和 年 月 日	
	昭和・平成・令和 年 月 日	
	昭和・平成・令和 年 月 日	
現 住 所	〒 _____ ☎ () _____ Email	
開 始 年 月 日	令和 年 月 日	

指導教員 承認欄	指導教員 (前期プログラム)	印
	指導教員 (後期プログラム)※1	印

※1 前期プログラムと後期プログラムが同じ専攻主科目の場合は記載不要です。

様式4

MD－P h Dプログラム辞退理由書

指導教授印

--

令和 年 月 日

札幌医科大学大学院医学研究科長 様

所 属：医学部医学科

第 学年 学籍番号 _____

氏名 _____ 印

次のとおりMD－P h Dプログラムを辞退したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

--

注) 前期プログラム履修の概要やその後の経過、辞退理由等について、詳しく記入すること。